

愛知夜間中学を語る会主宰・支援 自主夜間中学「はじめの一步」教室紹介

愛知夜間中学を語る会 代表

愛知県立夜間定時制高校 国語科教諭・日本語教師

笹山 悦子



立ち上げのきっかけ

- 学びのセーフティネットの必要性
- 「こんばんはⅡ」の上映会準備中に、コロナ感染拡大
- **支援を受けられずに困っている人々**の存在が浮き彫りに・・・



経緯

- 昨年5月に「語る会」を立ち上げ、個人的なネットで協力要請
- **地域の子育てネットワーク（多機関連携）**に参加、地域とつながる
- 社会福祉協議会 [tiki-hot41.pdf \(kitashakyo.jp\)](https://www.tiki-hot.com/)
貧困ネット、子ども食堂、保育園、弁護士事務所などとの連携により、

「だれも取りこぼさない」支援を目標に展開

中。

- 当初5名→現在54名（**10倍の増加**）



I. 夜間中学を必要とする人々

①日本語指導を必要とする児童生徒・おとなの増加

- 名古屋市の初期支援、適応教室3か月でOK?
- 日本語支援を受けられないおとなたち

②少子化にもかかわらず、増加する不登校児童生徒

- 形式卒業
- ⇒ 適切な支援が受けられない場合、**進路先で躓く**

③地域にも 家庭にも 居場所のない人々

- 孤独な高齢者 障がい者

**様々な背景
重層的な課題**

学校はフル回転！ 猛スピード！（コロナ禍では特に）

休校中の課題・積み残しの教科書範囲

⇒ とんでもなく広いテスト範囲
両面にぎっしり問題印刷されていて、制限時間内には終わられない

漢字や表現が理解できない子どもたち

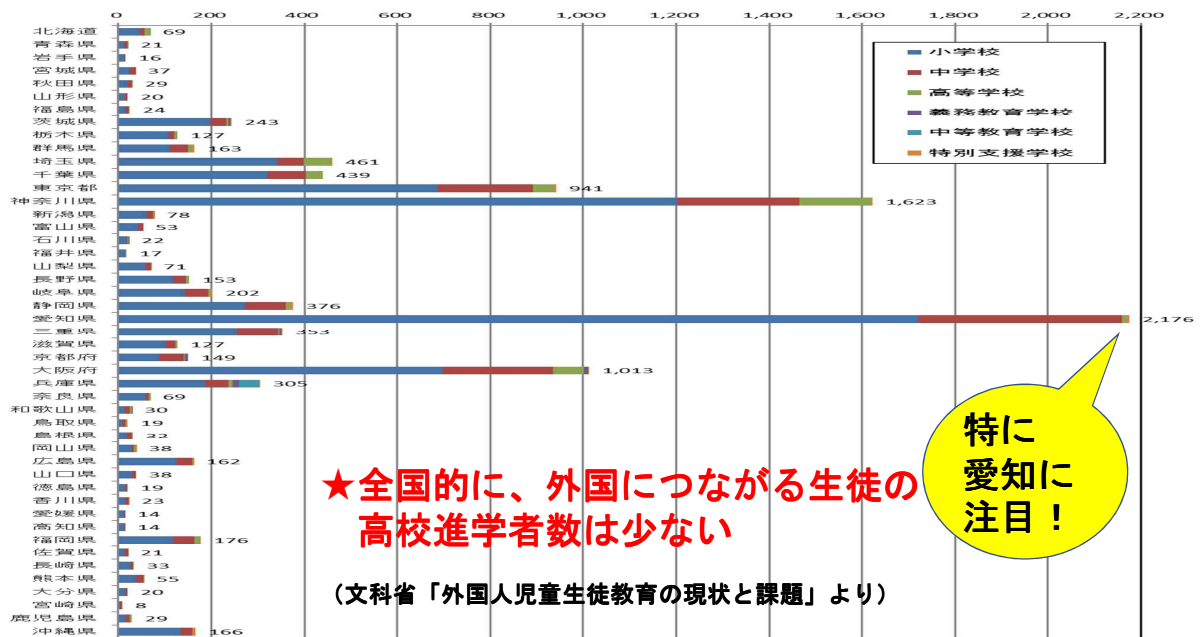


⇒ 置いてきぼり ⇒ 形式卒業者の大量出現？

進路をどうするか、保護者にも理解できない 保護者面談時には手遅れ

⇒ 内申点はオール1 行けるところがない！

日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の学校種別在籍状況（都道府県別） 児童生徒：人



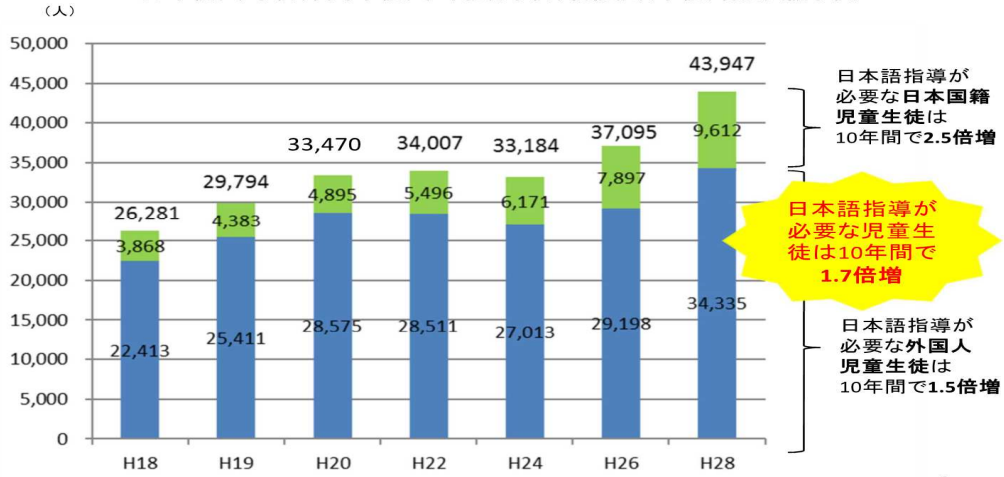
★全国的に、外国につながる生徒の
高校進学者数は少ない

（文科省「外国人児童生徒教育の現状と課題」より）

特に
愛知に
注目！

公立学校における日本語指導が必要な児童生徒数の推移①

(小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、義務教育学校、特別支援学校)



(出典)文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(平成28年度)」

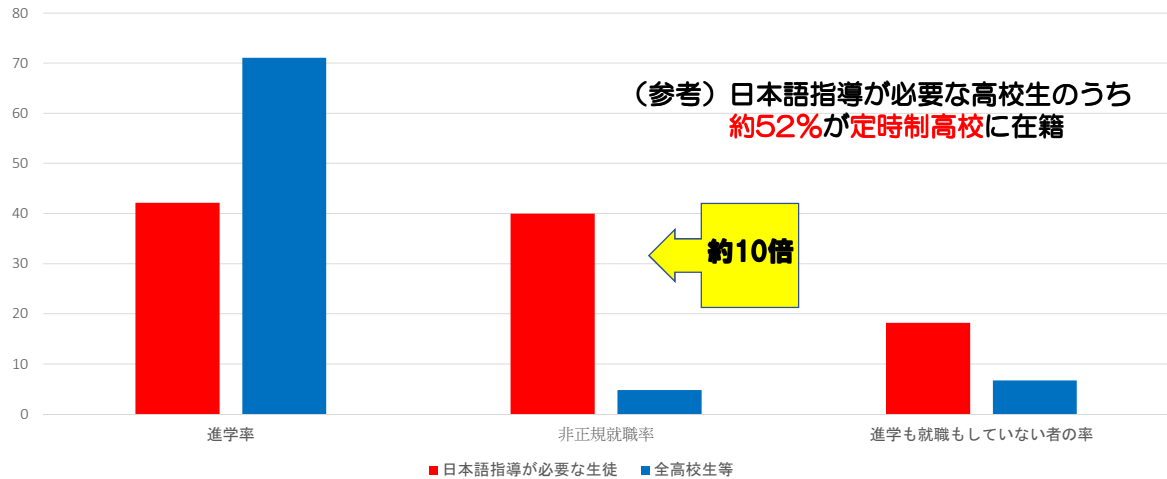
高校生等の中退状況に関する調査

(文科省 平成30年度 日本語が必要な児童生徒の受け入れ状況等に関する調査より)



高校生等の進路状況に関する調査

(文科省 平成30年度 日本語が必要な児童生徒の受け入れ状況等に関する調査より)



取り残されたおとなたち→学びが生活力に直結する

- 突然のリストラ → コロナ禍で仕事がなくなる
- 給料が上がらない → 読み書きできなければ仕事を選べない
昇進試験が受けられず、いつまでも最低賃金のまま
運転免許取得など読み書きできなければ取れない
- 孤立 → 家庭内での人間関係に悩む高齢者
地域での子育ての情報網からこぼれる外国人家族



Ⅱ.行政の動き

①「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保に関する法律」（略称 教育機会確保法 2016年）

年齢や国籍に関係なく中学校の形式卒業者や学齢から外れてしまい中学に通えない人たちの基礎学力を保障し、普通教育としての義務教育を受けることを保障する法律
国や地方自治体の責務が明文化された

②「日本語教育の推進に関する法律」（2019年 6月成立）

日本語教育の推進に関し、基本理念を定め、並びに国、地方公共団体及び事業主の責務を明らかにする」等を謳う。学校教育においても、その充実を図るための教員等の配置や養成、研修の充実、就学支援など必要な制度整備に必要な施策を講ずることとした。

学校現場では→2017年に「義務教育教職員定数法」が改善されたが10年計画の途上段階であり、日本語指導が必要な児童生徒のうち**約2割は指導を受けられていない**

夜間中学の設置促進・充実について（文科省HP）

現在、中学校夜間学級（いわゆる夜間中学）は、12都府県28市区に36校（R3年4月）が設置されています。文部科学省では、夜間中学が少なくとも各都道府県に1校は設置されるよう、その設置を促進しています。

※夜間中学とは、市町村が設置する中学校において、夜の時間帯に授業が行われる公立中学校の夜間学級のことをいいます。

（以下の赤字＝笹山記述）

2021年4月徳島・高知に県立の夜間中学開校 25年度までに岡山にも設立決定！
名古屋市新栄にある「中学夜間学級」は、文科省が認める「夜間中学」ではない。

設置状況（令和2年）



Ⅲ. 教室の理念 「ウェルフェア・リンギスティクス」 (社会の福利に資する言語・コミュニケーション) に基づく言葉の支援

言葉も含めた「学び」は**人権**であり、**生きる力**そのもの

⇒ **学ぶことは生きること**

⇒ **弱者のエンパワメント** (本来持っているものを引き出す 顕在化へのお手伝い)



我々自身が当事者 それぞれの立場でできることを考え実践し

「**学びの質の底上げ**」を図る

地域とのつながり (例: 多機関との連携・協働)

「**生活の質の底上げ**」を図る

主宰・支援 愛知県夜間中学を語る会
いっしょに ひたすら **はじめての一步教室**

学び直しをしたい人、高校進学したい人、
日本語を学びたい人など集合!

まいしゅうどようび
★いつ? **毎週土曜日10:00-20:00**
※月に一回休みます

★どこで? **平安通駅から徒歩8分/上飯田駅から徒歩5分**
「愛いの家」 (高いマンションの隣の小さな一軒家)
住所: 名古屋市北区
上飯田南町2-6-2
電話: 090-1864-8511 (雑音)
地下鉄: 「平安通駅」6番出口
名義: 「上飯田駅」の出口

★だれが? **年齢、国籍問わず、だれでもOK!**

★なにを? **学力や日本語力にあわせての勉強**

★お金は? **¥0 (無料です)**

★その他 **検定、消毒、換気、マスク着用などコロナ対策をしっかりと行います!**

★お問い合わせ先 **愛知県夜間中学を語る会 代表 笹山**
tel 090-1864-8511 (CメールOK!)
mail ethuko@outlook.com



こんなご支援をいただきました・・・

- ・かごつき自転車
- ・食材(米・豆など)のパントリー
- ・教材や感染予防対策グッズ
- ・うりんこ劇場への観劇ご招待
- ・理数科目の指導ご協力
- ・地域の皆さんのあたたかな見守り!

困っていること・・・

- ・愛知県国際交流基金が枯渇!
→ 地域の日本語支援教室が財政難に!!